

助成受給団体名	ちやいるどねっとじゃばん チャイルドネットジャパン
事業の名称	挨拶で広がる防犯の輪～渡波地区子ども安全・安心街づくり事業～
実施期間	2016年 8月 1日 ～ 2017年 7月 31日
実施した事業の内容 当団体は、震災で被災した石巻市渡波地区にあり、すぐ隣が渡波小学校です。子どもたちの下校時には声掛け等を自主的に行っております。また、絵本図書館も併設しているので、子どもたちのシェルターの役割も担っています。と言いますのは、子どもたちの出入りも多く、ひとり親家庭で、仕事の都合で、夜になっても、誰もいない家に帰りたくない子どもたちのために、夜9時までのシェルターとして、子どもたちの面倒を見ています。 こうした子どもたちに、日ごろの防犯意識を高め、自分の身は自分で守る、また、困ったら、近所の大人たちに頼る、ということを伝えたいと思い、標語を記したクリアファイルとステッカーを作成しました。 また、秋・春の防犯事業として、10月と4月に子どもたちと地域の方との交流イベントとして、万華鏡教室を開催しました。近所の大人たちに頼るといっても、震災によって、復興住宅に越してきた方たちとは、まだあまりなじみがありません。一方、引っ越してきた方々には、地域になじんでいただく機会もあまりありません。日常的に顔を見かけたら「こんにちは」と声を掛け合える関係になれるように交流事業を行いました。	
事業の成果 クリアファイルとステッカーは子どもたちの目を引き、また日常生活で使ってもらえるようにかわいいイラストと色合いにしました。「いかのおすし」という標語と、いつでも駆け込んできていいよ、というメッセージを添えたところ、子どもたちからは「怖い人がいたら、すぐに来る!」や「変な人を見かけたら、すぐに教えるね」といった声が上がりました。学校の場合、夕方から夜にかけては、暗くて怖い、ということもあるようですが、ここは、夜遅くまで明かりがついて、みんながいるから、安心できるようです。 また、万華鏡教室では、難しいところは、おじちゃん、おばちゃんと一緒に作り、最後にはお互いに見せ合っことして、仲良くなりました。「気軽に参加できるイベントがあって、とっても楽しかったです」という言葉と共に、時々、図書館に顔を出してくれる大人の方も増えるなど、地域の安全と防犯に大いに貢献する事業を行うことができました。	
今後の課題 子どもたちが少しずつ大人になっていき、やがて彼らが、小さい子どもたちの面倒を見るようになればいいなと思います。子どもは地域の、そして地域復興の大切な宝物です。そのために、今、渡波地区を、より安全で安心な地域に自分たちでしていきたいと思っています。	

